

日本のいちばん長い日 (1967)

メディア 映画
ジャンル 戦争 ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 157分
初公開日 1967/08/03
公開情報 東宝
映倫 G

【解説】

大宅壮一（実際には半藤一利）の同名ノンフィクションを「上意討ち 拝領妻始末」の橋本忍がシナリオ化し「殺人狂時代」の岡本喜八が監督した。撮影は「喜劇 駅前競馬」の村井博、音楽は「続組織暴力」の佐藤勝が担当。157分と長尺にもかかわらず、最初から最後まで緊張感を持続させ、数多くの登場人物をさばいた岡本喜八の手腕が光る。スタッフ・キャストともに素晴らしい仕事ぶりで、日本映画の底力を見せつけた。

広島と長崎への原爆投下やソ連の参戦など、日本の敗戦が決定的となった昭和二十年八月、特別御前会議でポツダム宣言の受諾が正式に決定した。だが終戦に反対する陸軍将校たちはクーデターを計画、一方、終戦処理を進める政府は天皇陛下による玉音放送を閣議決定する。終戦反対派は各部隊ごとにバラバラに行動を開始、やがて終戦を受け入れようとする師団長を射殺したり、玉音放送を中止すべく録音物を奪取しようとするなど、その行動が徐々にエスカレートしていく。

【クレジット】

監督	岡本喜八	
製作	藤本真澄 田中友幸	
原作	大宅壮一	「日本のいちばん長い日」
脚本	橋本忍	Shinobu Hashimoto
撮影	村井博	
美術	阿久根徹	
編集	黒岩義民	
音楽	佐藤勝	
監督助手	渡辺邦彦 山本迪夫	
ナレーション	仲代達矢	Tatsuya Nakadai
出演	宮口精二 戸浦六宏 笠智衆 山村聡 三船敏郎 小杉義男 志村喬	東郷外相 松本外務次官 鈴木総理 米内海相 阿南陸相 岡田厚相 下村情報局総裁

高橋悦史	井田中佐（陸軍省軍務課員）
井上孝雄	竹下中佐（陸軍省軍務課員）
中丸忠雄	椎崎中佐（陸軍省軍事課員）
黒沢年男	畑中少佐（陸軍省軍事課員）
吉頂寺晃	梅津参謀総長
山田晴生	豊田軍令部総長
香川良介	石黒農相
明石潮	平沼枢密院議長
玉川伊佐男	荒尾大佐（陸軍省軍事課長）
二本柳寛	大西軍令部次長
武内亨	小林海軍軍医
加藤武	迫水書記官長
川辺久造	木原通雄（内閣嘱託）
江原達怡	川本秘書官（情報局総裁秘書）
三井弘次	老政治部記者
土屋嘉男	不破参謀（東部軍参謀）
島田正吾	森近衛師団長
森野五郎	大橋会長（NHK）
加東大介	矢部国内局長（NHK）
石田茂樹	荒川技術局長（NHK）
田崎潤	小園大佐（厚木基地司令官）
平田昭彦	菅原中佐（厚木基地副司令官）
中村伸郎	木戸内大臣
竜岡晋	石渡宮内相
北竜二	蓮沼侍従武官長
野村明司	中村中将（侍従武官）
藤木悠	清家中佐（侍従武官）
北村和夫	内閣官房佐藤総務課長
村上冬樹	松阪法相
北沢彪	広瀬蔵相
岩谷壮	杉山元帥（第一総軍司令官）
今福正雄	畑元帥（第二総軍司令官）
天本英世	佐々木大尉（横浜警備隊長）
神山繁	加藤総務局長（宮内省）
浜村純	筧庶務課長（宮内省）
小瀬格	若松陸軍次官
佐藤允	古賀少佐（近衛師団参謀）
久保明	石原少佐（近衛師団参謀）
草川直也	長友技師（NHK）
石山健二郎	田中大将（東部軍司令官）
滝恵一	塚本少佐（東部軍副官）
藤田進	芳賀大佐（近衛師団歩兵第二連隊長）
田中浩	小林少佐（陸相副官）
佐田豊	佐野恵作（宮内省総務課員）
上田忠好	佐野小門太（内閣理事官）

勝部演之
伊藤雄之助
青野平義
児玉清
浜田寅彦
袋正
小林桂樹
中谷一郎
若宮忠三郎
山本廉
森幹太
伊吹徹
久野征四郎
小川安三
田島義文
加山雄三
新珠三千代
宮部昭夫
関口銀三
関田裕
井川比佐志
須田準之助
高田稔
堺左千夫
小泉博
大友伸
松本幸四郎

白石中佐（第二総軍参謀）
野中俊雄大佐（児玉基地飛行団長）
藤田侍従長
戸田侍従
三井侍従
入江侍従
徳川侍従
黒田大尉（航空士官学校）
水谷大佐（近衛師団参謀長）
伍長（宮城衛兵司令所）
高嶋少将（東部軍参謀長）
板垣中将（東部軍参謀）
大隊長（叛乱軍）
巡查（首相官邸）
渡辺大佐（近衛師団第一連隊長）
館野守男（NHK）
原百合子
稲留大佐（東部軍参謀）
岡部侍従
神野少佐（東部軍参謀）
憲兵中尉
高橋武治（NHK報道部長）
海軍軍務局長
厚木基地飛行整備科長
和田信賢（NHK）
陸軍軍務局長
今上天皇